

バ羽化シテ小蛾トナル時珍ハ爾雅ノ烏蠋トスコレハイモムシナリ一名螭蠋正字芋ノ葉上ニ生ズル大長蟲ナリ形狀ハ蠶ニ似テ大ニシテ綠褐黒數色アリ皆老テ大蝶ニ化ス多クハ玄武蟬トナルナリ

増釋名蠋ハ青クシテ毛ナキ長ムシノ總名ナリ同類ノモノ故コレヲ釋名ニ出ス俗ニイモムシト云イモムシト云モ總名ナリ芋ニ限ラズ草木共ニ生ズソノ生ズル所ノ草或ハ木ニ因テ形色少異アリ皆繭ヲ作り蛹トナリテ蝶ニ化ス集解ニ烏蠋ト云ハ黒色ノ者ナルベシ

〔書言字考節用集五氣形〕木螺ミカシ 避債蟲又云結草虫

〔和漢三才圖會五十三化生蟲〕蓑衣蟲 結草蟲 木螺 壁債蟲 俗云美乃無之

按諸木嫩葉漸舒老葉間有卷中生小蟲其蟲喰取枯葉吐絲用作窠長寸許婆娑形如燃艾炷每繩于枝其蟲赤黒色有皺段而首尖時出首喰嫩葉動其首貌彷彿蓑衣翁故名之俗說秋夜鳴曰秋風吹兮父戀焉然未聞鳴聲蓋此蟲以木葉爲父爲家秋風既至則邇零落矣人察之附會云爾耳其鳴者非啜聲乃涕泣之義

〔蟲譜圖說二卵生蟲〕避債蟲 俗云ミノムシ

千蟲譜引程參醫抄錄撮要云今柘榴上有一種取短梗半寸以來周圍植之以裹身行則負以自隨亦化蛹其蟲俗呼避債蟲諸木皆生○下略

〔枕草子三〕みのむしいとあはれなりをにのうみければおやにて是もおそろしき心ちぞあらむとておやのあしき衣をひききせていま秋かせふかんおりにぞこむとするまでよといひおきていにけるをさもしらすまことかとして風のおとをきしりて八月ばかりになればちよちよとはかなげになくいとあはれなり

〔嬉遊笑覽十二禽蟲〕これ古への童が諺なるべし蓑虫のきぬ穢けきあらくしきもの故おにのす